

令和4年度 学区・地区敬老会

工夫凝らし地域でお祝い

今年度の合同敬老会は、コロナウイルス感染者数増大のため中止となりました。各学区地区の敬老会についても同じでした。しかし、高齢者に喜んでいただけるよう、岡山市からの記念品はもとより、地域独自の記念品を配布した学区地区もありました。

■陵南学区 9月16日(金) 80歳以上 902人

昨年と同様、地区敬老会は中止。岡山市からの記念品(お菓子)、陵南婦人会からの記念品(タオル)、交通安全母の会からの啓発グッズにお手紙を同封し、一軒一軒手渡しでお届けしました。皆さまから笑顔をいただきましたが、来年こそは楽しみに待ってられる敬老会が開催されますことを願っています。(森安敏子)



■竜之口学区 9月25日(日) 75歳以上 814人



続くコロナ禍ゆえ少人数の代表の方で敬老記念品贈呈式を開催し、ビデオ撮影、中継で記録を残しました。該当の代表の方に市からの記念品(お菓子)と竜之口婦人会から記念品(味付けのり)を贈呈いたしました。お祝いの言葉に続き、高齢者の心のこもった謝辞を頂き、見守る婦人会員は拍手でご長寿を祝い、いつまでもお元気で過ごしてくださいよう祈念いたしました。(平松知子)

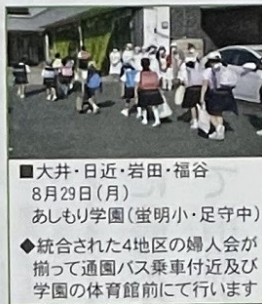
■幡多学区 10月16日(日) 77歳以上 2007人

第118回幡多学区敬老会の開会式典は中止とし、地域を一軒一軒回り「温かい地域づくり」を合言葉に対話での繋がりを深めました。該当者の方々に岡山市からの記念品、地域から避難所使用の防災セット、小学生が書いた手紙を添えて「これからも何があっても、みんなで支え合いましょう」と婦人会員の笑顔とともに訪問をしました。地域の方々と婦人会員の心に大きな思い出として温かい絆が芽生えました。(市圭子)

■弘西学区 10月29日(土) 80歳以上 456人



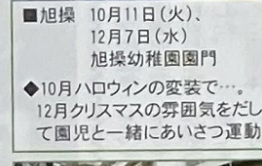
コロナ禍で地区敬老会は例年のホテルでの開催は3年連続中止となりました。岡山市からのお祝いの品と地域からはアマノフーズの雑炊と味噌汁のセットをお届けいたしました。婦人会員が手渡しをして、皆様のご長寿を願いました。(平井順子)



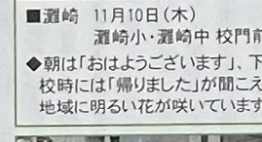
■大井・日近・岩田・福谷 8月29日(月) あしもり学園(蛍明小・足守中) ◆統合された4地区の婦人会が揃って通園バス乗車付近及び学園の体育館前にて行います



■旭操 10月11日(火)、12月7日(水) 旭操幼稚園園門 ◆10月ハロウインの衣装で…。12月クリスマスの雰囲気を出して園児と一緒にあいさつ運動



■瀬崎 11月10日(木) 瀬崎小・瀬崎中 校門前 ◆朝は「おはようございます」、下校時には「帰りました」が聞こえ地域に明るい花が咲いています



■足守 1月6日(金) 足守小学校 校門前



■清輝 9月1日(木) 清輝小学校前



■御津 9月1日(木) JR金川駅



■御津南 9月1日(木) JR野々口駅



■三門 11月14日(月) 三門小・三門幼稚園



■陵南 12月19日(月) 陵南小学校 校庭

あいさつ運動特集 (令和4年度)

婦人会のあいさつ運動の輪が広がり、各学区地区婦人会の笑顔いっぱい、工夫いっぱいのあいさつ運動の様子を紹介しします。



■雄神 毎週木曜日 雄神小学校



■平福 4/18~22、9/5~9、1/10~13 平福小学校西門・東門



■御野 8月29日(月) 北方1丁目 藤本医院前交差点



■福浜 8月29日(月) 福浜小学校

全員評議員講演会 ゴミ出しルール再確認を

令和四年十一月八日に開催された全員評議員講演会では「岡山市のゴミ処理について」と題して、岡山市環境局資源循環推進室の佐藤菜摘氏より講演をしていただきました。写真



「ゴミとは?」という問いかけから始まり、岡山市としてのゴミ収集の経緯や現状についてもお話しいただきました。なかでも驚いたのは回収した不燃ごみを職員の方が手選別で分けをされているということでした。それはゴミの出し方ルールがなかなか浸透し

ていないからゆえの作業だということ。皆さんの家庭にもあると思いますが、岡山市から配布されているゴミについてのガイドブック「どーすりゃええ?」を用いて話をしてくださり、その中には本当に詳しく記載されていて、私自身間違った出し方をしてい

た。そして「ゴミ出しに悩んだ時は岡山市が作っているごみ分別アプリを利用してくださり」と締め括られました。早速アプリも利用してみました。自分の住んでいる地区を選択

自らの消費行動より良く

岡山市エンカル講演教授、柿野成美(かき)氏が令和五年一月二十日(金)「エンカル消費の視点から考えよう」

柿野先生から、今回のSDGsの中心となるエンカル消費とはどういうものか、基本的なことやエンカル消費を広げて行くにはどうしたらいいかを少し発

展的な内容も含めお話ししたいと講演が始まりました。「エンカル消費」とは、より良い社会に向けて、人や社会・環境に配慮した消費行動をとったり、人

社会・地球の今と未来の幸せのために、思いやりと責任をもって行動出来る消費者になるという事です。また、消費者の権利と責任(役割)、何を

最後に「今日のエンカル消費講座で、私たちが普段何を買うか、選ぶための情報に気を配る、買う前に本当に必要な物を考える、使い終わったらゴミにするのではなく再利用できないかなどの視点を持つ消費行動が重要な意味を持っているという事にも少し理解を深め、行動に移していただくきっかけになれば嬉しいなと思います」と締めくくられました。



基準に選べば良いのか、フェアトレード商品を買いたくても商品がない時はどうするか、エンカル消費をどうやって広めたいかなど、様々な説明がありました。

編集後記

令和4年度最終第341号をお届けできました。広報啓発部の役割は連合婦人会の活動を知らせていただく事です。コロナ禍中であれ活動への理解を深め、人と人の繋がりを広げながら楽しく活動してまいりました。

情報収集や原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご協力ご支援よろしくお願いたします。